

令和 3 年

第 4 回防府市議会定例会

一 般 質 問

9 月 8 日（5 人）

1 河村 孝・2 河杉 憲二・3 山田 耕治・4 今津 誠一
5 石田 卓成

9 月 9 日（5 人）

6 青木 明夫・7 梅本 洋平・8 宇多村 史朗・9 曾我 好則
10 田中 敏靖

9 月 1 0 日（5 人）

11 高砂 朋子・12 松村 学・13 田中 健次・14 村木 正弘
15 吉村 祐太郎

9 月 1 3 日（5 人）

16 牛見 航・17 三原 昭治・18 清水 力志・19 藤村 こずえ
20 橋本 龍太郎

No.	1	河村 孝
質 問 事 項		要 旨
1	2050年カーボンニュートラルについて	2050年に温室効果ガスの排出を実質ゼロとする「カーボンニュートラル」に向け、世界中が加速し、国も企業も力を入れている。脱炭素社会への取組に、本市としての取組について伺う。 (1) 新庁舎等への太陽光発電の設置など再生可能エネルギーの取組やEV導入や充電スポットの充実など移動・物流の低炭素化の取組やペーパーレスなど循環型社会への取組など、行政としての取組について (2) グリーン成長戦略へ挑戦する市内企業もある。脱炭素への機運を醸成するための環境活動や環境教育の推進など持続可能な地域づくりの取組について
2	デジタル化の推進について	アフターコロナ、ウイズコロナを見据え、4月の県のデジタル推進局の設置、9月の国のデジタル庁の設置など、デジタル化が本格的にスタートする。本市のDXの取組について伺う。 (1) 本市における行政業務の効率化と人材育成について (2) 行政手続きのオンライン化、デジタル地域拠点としての公民館の活用など、市民一人一人が利便性を実感できる取組について (3) 市内企業へのデジタル化支援の取組について
3	小・中学校における新型コロナウイルス感染症対策について	デルタ株の感染拡大の中、教育現場においてどのような感染対策を行うか伺う。 (1) 小・中学校の感染対策について (2) タブレット端末を使用した感染拡大時における学習機会の確保について

No.	2	河杉 憲二
質 問 事 項		要 旨
まちづくりについて		(1) 第5次防府市総合計画について ア これまでの進捗状況はどうか イ 今後の進め方についてどのように考えているのか (2) 新庁舎建設により中心市街地の形成はどのように考えているのか

No.	3	山田 耕治
質 問 事 項		要 旨
1	市の文化財について	(1) 現在、市内で指定されている無形文化財、並びに無形民俗文化財はいつ頃指定されたのか？また、今後の文化財の指定予定等の状況は？ (2) 国は無形文化財と無形民俗文化財の登録に対する制度の一部改正をした。現在の指定制度の基準よりも緩やかにし、伝承も含めた郷土の文化財を守っていくための見直しと理解するが市としての考えは？ (3) 地方自治体が有形・無形に関係なく独自の登録制度で条例を設けることも可能であることから、現在の条例の見直しも必要と考えるが如何か？ (4) 今回見直しされた登録案件の中で、地域の祭りや郷土料理なども今後は、考えていくことも必要と思うが、市としての考えは？ (5) 今後の取り組みとして、動画配信で有形・無形民俗文化財を伝えることや市の財産として動画で残す試みも提案するが如何か？
2	食育と子ども達への支援について	(1) 子ども達に「食」に対する知識と、バランスの良い「食」を選択する力を身に付けさせる取り組みは？ (2) 有機農業という農薬を使用しない田んぼや畑で、野菜や米を作る方法がある。「SDGs！エシカルな給食を！」ということで、『ゆうき給食の日』を設けることを提案するが如何か？ (3) 子ども達の成長において第二発育急進期はとても重要と認識する。心と身体が発育をするこの大切な時期、食育で、子ども達が自分の手で作る『弁当の日』を、市として促してみてもどうか？

No.	4	今津 誠一
質 問 事 項		要 旨
1	飲食店に物品を卸す事業者への支援	これまで市は、コロナ禍で経営が厳しい飲食店に対し複数回支援をしてきたが、飲食店へ物品を卸す事業者も、同じく厳しい経営を強いられている。 できれば、これら事業者にも支援をすべきと考える。 6月補正で飲食店への支援金1億5千万円が予算化されたが、その消化額は約1億円程度と聞く。未消化分をこれら事業者に支給して貰いたい。
2	国の誤った中小企業改革と地方銀行再編	現在、菅内閣の下で誤った中小企業改革と地方銀行再編が行われようとしている。 仮にこれが行われると中小企業の約半分がM&Aで淘汰され、地方銀行もその数が激減し、地方経済に深刻な影響を及ぼし、地方の息の根が止められてしまう。 地方自治体も地方議会も事態の深刻さを認識し、これらの改革と再編を阻止しなければならない。 これについて市長の見解を尋ねる。

No.	5	石田 卓成
質 問 事 項		要 旨
1	田舎に住む高齢者の移動手段の確保について	(1) 平成30年3月に策定された、防府市地域公共交通網形成計画では、令和5年度までに、地域の実情に応じた公共交通サービスの検討を行うことが記されていますが、いつ頃に地域での話し合いを計画されているのでしょうか。 (2) 田舎に住む高齢者の移動手段確保の問題について、これまでに解決できずに山積みになってきた様々な問題を解決されてきた池田市長だからこそ、どんな方法でも良いので、何としてでも今の任期のうちに道筋をつけて頂けることを期待している訳ですが、いかがお考えでしょうか。
2	地域農業の将来ビジョンについて	(1) 地域が抱えている農業の問題について、圃場整備が行われていない大道地区以外の地域で見られた傾向を教えてください。 (2) 人の問題について ア 新規就農希望者の相談体制について イ 事業継承について (3) 農地の問題について (4) 地域での継続した話し合いについて
3	豪雨災害について	(1) 先日の大雨による市内の土木関連の被害状況を教えてください。 (2) 今回の大雨で、定期的な河川の浚渫が重要であることを強く感じました。市の管理する河川については、今後も定期的に堆積した土砂の浚渫を行って頂くとともに、県や国が管理する部分については、しっかりと要望をし続けて頂きたいと考えておりますが、執行部としてはいかがお考えでしょうか。

No.	6	青木 明夫
質 問 事 項		要 旨
1	少子化考 少子化対策の推進について	毎年1,000人の新生児誕生に向けた対応について 防府市人口ビジョンで、令和7年の5年後の年少人口（0～14歳）12.5%、14,000人を達成する施策について伺います。
2	ふるさと出産できるまちの実現について	産科医不足に対する防府市の対応について 山口市、周南市の産科医に市内在住の100人位の妊婦の方がお世話になり、お産をされていると思うが、産科医不足に対してどのような取り組みをされているのか。

No.	7	梅本 洋平
質 問 事 項		要 旨
1	お悔み手続きの簡素化について	高齢化が進み残された遺族の方も高齢化が進んでいる。そのような中、死亡後の手続き（お悔み手続き）は複雑で、担当課も様々である。 (1) お悔み手続きが必要な方に現在どのような案内をされているのか。 また、手続きに悩まれている方にどのようなサポートをされているのかお伺いする。 (2) お悔み手続きをする窓口を一本化することが市民サービスの向上に繋がると考えるがご所見をお伺いする。
2	都市計画道路の見直し実施について	H25～26年にかけて「防府都市計画道路見直し調査」を実施し、検討された経緯がある。あれから8年が経過し、市の状況も変化してきた。 将来的に必要度が低くなったがそのままになっていることにより経済活動の妨げになっていると考える。 (1) 計画道路に決定されているものの長年整備されていない路線が多くあるが、今後どのように見直しをされるのか。 (2) 方針を作成する段階で広く意見を聞く場が必要であると考えがいかがか。
3	小中学校における水泳授業について	義務教育における水泳授業は、命を守る技法を身に付けるものであると考える。しかしながら、この2年間は新型コロナウイルス感染症の影響で水泳授業が行われていない。 (1) この事態をどのようにお考えか。来年以降、水泳授業の実施が可能になった場合、授業数を増やすなどの対策についてご所見をお伺いする。 (2) 全国的に水泳授業の外部委託を行う自治体が増えてきているが防府市も検討を始めてはいかがか。ご所見をお伺いする。

No.	8	宇多村 史朗
質 問 事 項		要 旨
1	市有３世代住宅用地の活用計画と今後のスケジュールについて	市有３世代住宅用地の市の方針について、市は民間活力の導入による有効活用を図ると表明された。 今後の具体的なスケジュールを示されたい。
2	防府市の市営住宅について	(1) 防府市の市営住宅の戸数と入居戸数の現状について伺う。 (2) 平成２９年からの１０年間を計画期間とする、防府市公営住宅等長寿命化計画について、本年が見直しの年となっているが、その中で少子高齢化の進捗と市営住宅の需要と供給のバランスを取る必要があるが、どのような見込みをされるのか。また今後のスケジュールを示されたい。
3	居宅介護支援事業所と介護予防について	(1) 居宅介護支援事業所のコンプライアンスについて (2) 短期集中予防型サービスの実施状況について

No.	9	曾我 好則
質 問 事 項		要 旨
1 新型コロナウイルスへの対応について		現在、感染力が強く、若者層を重症化させるデルタ株の出現により、国内の状況が一変してきたと感じているが、本市における現状と課題及び今後の対応について、所見を伺う。

No.	10	田中 敏靖
質 問 事 項		要 旨
1	公民館などの公共施設の安全性について	牟礼公民館等の移転・建替について

No.	11	高砂 朋子
質 問 事 項		要 旨
1	犯罪被害者等支援のためのさらなる取組について	「防府市犯罪被害者等支援条例」は平成25年4月施行後8年経過、現在の社会情勢等を反映し、二次的被害が生じないよう理解の促進を図るとともに、犯罪の被害に遭われた方々が受けた被害の回復、軽減に向けたさらなる取組の推進と相談体制の充実が必要。ご所見を伺う。
2	困難や不安を抱える女性への支援について	(1) コロナ禍において、妊産婦の方が抱えておられる困難や不安への対応、支援について伺う。 (2) コロナ禍において、「生理の貧困」問題が顕在化。生理用品の提供等を通して、困難や不安を抱えている女性への支援について伺う。 (3) 小中学校トイレに生理用品を配備し、子ども達が安心して学校生活が送れること、また、背景にある困難や不安に寄り添える体制が必要。ご所見を伺う。
3	オストメイトの方への支援について	(1) 災害時、オストメイトの方がストーマ装具を自分で持ち出せなかったり、不足となった場合、関係機関の連携支援が必要。市の取組を伺う。 (2) 高齢化に伴い高齢オスメイトも増加。認知症等の場合、在宅でのストーマケアが困難になり、その対策必要。ご所見を伺う。
4	新市庁舎におけるトイレ整備について	バリアフリー法改正のもと「多目的・多機能トイレ」から「バリアフリースマイル」と改称され、今後、多様な特性に配慮したトイレ整備が求められる。新市庁舎におけるトイレ整備がどのように計画されているか伺う。

No.	12	松村 学
質 問 事 項		要 旨
1	今後の企業誘致の取り組みについて	本市の企業誘致の取り組みは防府第一テクノタウンと防府第二テクノタウンという大和ハウス工業による工業団地造成によって大きく前進しました。また昨年10月には江泊地区に新たな生産流通拠点として丸久デリカ・プロセスセンター建設や本年6月には中関三ノ栢の6万㎡あった空き用地に防府通運が新事業所建設するため、防府市と協定書が交わされました。コロナ禍ですが、防府市の企業の進出状況は良好であります。一方、新たな企業進出や事業所を建設する適地がないというお声を昨今よく耳にします。そこで以下質問します。 (1) 以前の質問で今後はまとまった敷地と工業水道がある江泊や西浦が工業誘導用地の候補になるとお考えでしたが、その後の進捗状況は？ (2) 防府第一テクノタウンおよび防府第二テクノタウンの企業進出状況をお伺いするとともに、今一度、工場誘致の助成制度の拡充や対象業種の緩和が出来ないか？ (3) 市として適地になるような場所を地元調整も含め、リサーチ、情報提供できないか？
2	セルビアホストタウン事業について	コロナ禍で残念でしたが、ホストタウンとなったセルビア女子バレーボールチームが東京2020オリンピックで銅メダルを獲得し、長きに渡った事業や交流により、たくさんの成果と子供から大人までの市民に感動を与えるに至りました。そこで今後の事業展開について質問します。

No.	13	田中 健次
質 問 事 項		要 旨
1	建設残土について	(1) 市が発注する建設工事について、どのように対応してきたのか。処分する場合は、どのような取り扱いをしているのか。 (2) 市の庁舎建設にあたって、建設残土の取り扱いはどう考えているのか。 (3) 「土砂条例」または「残土条例」と言われる条例を制定し、土砂の不適正な埋立てを規制する条例を制定するべきではないのか。
2	庁舎建設について	3月議会の一般質問で作成すると答弁された実施設計の概要版（10頁程度）について、6月議会で進ちょく状況をたずねたが、未だに作成されていない。市ホームページにいつ掲載し、いつ議会に示していただけるのか。
3	再生可能エネルギーの利用について	環境基本計画に則して、庁舎の実施設計を一部修正し、太陽光発電システムを導入すべきではないか。
4	太陽光発電に関する条例について	(1) 美祢市のように、土砂災害警戒区域での設置を規制する条例を制定するべきではないか。 (2) 長門市や山口市のように、景観条例による規制を検討するべきではないか。

No.	14	村木 正弘	
質 問 事 項			要 旨
1 「逃げ遅れによる犠牲者ゼロ」を目指す、防災について			(1) 8月の大雨で、72時間雨量では、過去最高となり、警戒レベル3及び4が発令された。住民の早期避難対策、情報伝達、防災意識の向上に、より一層、力を入れるべきと考える。ご所見を伺う。 (2) 自然災害が激甚化、頻発化する中、気象専門家の役割が、重要となっている。国土交通省が進めている「気象防災アドバイザー」を活用してみても如何か。ご所見を伺う。
2 公園の整備について			(1) 東京パラリンピックでは、多様性を尊重する社会の現れを象徴する行事であり、障害に対する意識が変わる大きな契機となっている。公園についても誰もが一緒に遊べるインクルーシブ公園の導入が必要と考える。ご所見を伺う。 (2) 東京五輪では、スケートボードが注目を集め全国的に愛好家が増えている。しかしながら、設備が古くなり、事故や、ケガにも繋がるのではないかと懸念している。今後、安心して楽しめるよう整備が必要になると考える。ご所見を伺う。
3 コロナ禍における、読書のバリアフリー対策について			教育及び文化の情報拠点として、図書館サービスは重要であり、すべての人がいつでも利用できることが求められる。弱視者や視力が衰えた高齢者向けの大活字本の充実やコロナ禍の中、来館せずに、図書館を利用できる電子図書の導入などが必要ではないかと考える。ご所見を伺う。

No.	15	吉村 祐太郎
質 問 事 項		要 旨
1	敬老会について	コロナ禍で敬老会を開催していない地域が多くあり、これを機に敬老会のあり方を見直してはどうか。
2	市広報、回覧について	新しい生活様式に移りゆく現代にふさわしくない市広報、回覧の配布を見直してはどうか。
3	公民館におけるスマートフォン・タブレット講座等について	急速なＩＴ化に伴い、使いたくても使い方が分からない方向けに、スマートフォン・タブレットの講座等の開催を増やしてはどうか。

No.	16	牛見 航
質 問 事 項		要 旨
1 防府市の特色ある産業について		(1) 防府市の日本酒、鋳物、蛸壺、刀剣などの産業についてどのように考えているか。 (2) 特色ある産業を活用した観光事業などについてはどのように考えているか。

No.	17	三原 昭治
質 問 事 項		要 旨
1 防犯灯の設置について		防犯灯は、防犯を目的として街路などに設置した電灯です。市では、環境問題などの点から、自治会に対してＬＥＤの防犯灯設置を進め、設置等に対して補助制度を設けています。現在、目覚ましく普及しています。さて以前、同僚議員が防犯灯の設置で、民家等が少ない学校周辺の街路について、防犯灯の設置が少なく、大変危険なことから自治会ではなく、市が設置して維持管理すべきだとの指摘と提案がありました。これを受けて市では、通学路等特定の場所に防犯灯を設置する場合に対して、補助額や補助率をあげた制度を設けていますが、現在までの運用状況は。
2 災害時の避難所の体制について		新型コロナウイルス感染症は、感染力の強いデルタ株による感染が急拡大をしているが、デルタ株による感染拡大のなかでの災害時における避難所の体制、対応は。

No.	18	清水 力志
質 問 事 項		要 旨
1	土地利用規制法について	自衛隊基地や原発などの施設の周辺の土地の利用を規制する土地利用規制法が6月16日の参議院で可決され成立した。 この法律について本市の見解は。
2	健康保険法等の一部改正について	(1) 後期高齢者窓口負担の2割負担（2倍化）について 健康保険法等の一部改正法の成立により、2022年度後半に後期高齢者の課税所得が28万円で年金収入とその他の合計所得金額が単身世帯で200万円、複数世帯で320万円以上の方の医療費窓口負担が2割となる。 ア 本市において、負担増となる対象者は何人か。また全体における割合は。 イ 今回の負担増は、高齢者にどんな影響を及ぼすとお考えか。 (2) 国民健康保険料の子どもの均等割について 国は2022年度から就学前の子どもの均等割について半額を軽減することを決めた。さらに市独自で対象を18歳まで拡大して頂きたいが、どうか。
3	新型コロナウイルス感染症対策について	8月23日、市は新学期開始前に小中学校教職員および保育所、幼稚園の保育士に対してPCR検査を実施すると発表した。さらなる感染防止として、希望する全ての児童生徒にもPCR検査を行って頂きたいが、どうか。

No.	19	藤村 こずえ
質 問 事 項		要 旨
1	これからの防府競輪について	(1) コロナ禍における競輪経営について 防府競輪では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に応じて入場制限や無観客開催などの対策を取られているが、こうした中での経営状況を伺う。 (2) 防府競輪場の施設整備について 防府競輪場が市民に親しまれる場に生まれ変わるため、これからどのような施設整備を進めていこうとされるのか伺う。
	2 市営住宅の改修について	高度成長期を中心に建設された市営住宅の維持管理、更新の需要は着実に増大しており、耐用年数が近づくにつれ、退去時の補修や長寿命化計画に基づく外壁改修だけでは対応できないと考える。今後は長期的な視点に立った建て替え、個別改善、全面的改善等の多様な取り組みにより、円滑なストック更新を図っていく必要があると考える。 現在、「防府市公営住宅長寿命化計画」に基づき、外壁改修等については、鋭意進められているが、今後は、老朽化や生活様式の変化に伴い、内装についても計画的な改修を進める必要があると考えるが、ご所見を伺う。

No.	20	橋本 龍太郎
質 問 事 項		要 旨
1	広域防災広場の整備について	安全安心を第一にしたまちづくりを進めるにあたり第5次総合計画では、消防署や山口県立総合医療センター、防災広場などの防災・医療拠点をつなぐ「防災ネットワーク」の構築を目指すとあり、このネットワークの中に大規模な災害にも対応できる災害時の広域な防災拠点となる防災広場を佐波川右岸エリアに整備するとあります。 この広域防災広場の整備について今後どのように取り組んでいかれるのか伺います。

